

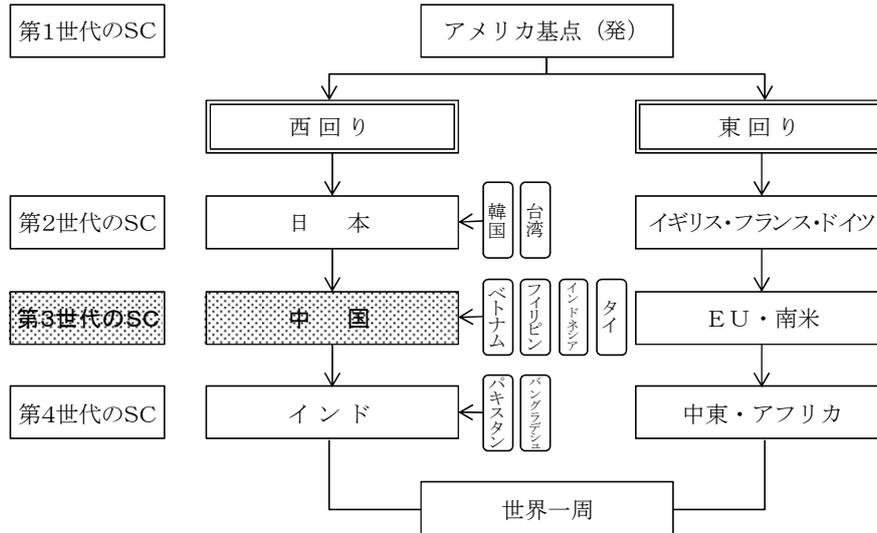
視点(1471)

I Saw All China (その9) !!

— 第3世代のSCづくりと中国 —

SCはアメリカで20世紀最強の流通業態として誕生しました。今は日本やヨーロッパのみならず、世界中に進出しています。

私は、中国のSCは「**第3世代のSC**」と呼んでいます。その意味は次の通りです。



SCは経済の進化に比例して、アメリカを基点として、世界に波及しています。すなわち「大量生産・大量販売・大量消費システム」が確立した上で、「中間所得層の出現」(1人当たり1万ドル以上のGDP)、「車社会の到来」(世帯所有率50%)、「人口大移動」(ローカルから都心へ、都心から郊外へ)の3つのCの成立条件が備わった順にSC時代を迎えます。

中国のSCを第3世代のSCと表する理由は次の通りです(六車流:流通理論)。

①第1世代のSC「アメリカのSC」

ヨーロッパのギャレリアを基に、アメリカの大量消費時代、車社会、郊外化時代に対応して進化したのがSCです。アメリカでSCが大発展することにより、SCノウハウが確立され、このノウハウに基づいたSCが各国へ波及しました。

②第2世代のSC「日本のSC」

アメリカのSCノウハウは、アメリカに次ぐ世界第2位の経済国家である日本へ波及し、「仕組みのアメリカ」「運営の日本」として、まさに、日本式SCは米国式のSCのアジア版(日本版)として大発展しました。

③第3世代のSC「中国のSC」

中国は今や日本を抜き世界第2位の経済国家になりました。しかし、1人当たりのGDPは日本の10分の1であり、それゆえに、消費力は今後、大成長することになります。アメリカから日本のSCノウハウの波及は、ほぼ同じ次元での波及ですが、日本及びアメリカから中国のSCノウハウの波及は、かなり異なる要素があります。

それは「人口が13億人」(アメリカ3億人、日本1.3億人)と桁はずれの人口規模を持っている事と、ネット販売という新しい流通形態が2020年頃には主力になることです。この13億人という人口規模とネット基軸の流通形態の普及という2つの要因は、今までのアメリカや日本のSCノウハウとは異なる進化を遂げる可能性があります。

それゆえに、中国のSCは、中国から見ると流通歴であるアメリカ型と日本型を基軸としつつ、**全く異なる中国独自の要因により、新たな進化が起こることが想定されます**。それゆえに、中国SCを「第3世代のSC」と名付けました。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六軍秀之